

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年7月28日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
東京都千代田区有楽町一丁目1番2号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
旭化成株式会社 代表取締役社長 工藤 幸四郎  
(代理人) 守山製造所 製造所長 友清 正博

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項  
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) ]  
[事業者行動報告書を作成 ]  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	旭化成株式会社 代表取締役社長 工藤 幸四郎
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都千代田区有楽町一丁目1番2号

1 事業者の概要

事業所の名称	旭化成株式会社 守山製造所					
事業所の所在地	滋賀県守山市小島町515番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	リチウムイオン二次電池用セパレータ、ポリウレタン弾性繊維などの製造					
従業員の数	1,200	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	7	台	熱源設備		台
	コンプレッサ	26	台	空気調和設備	500	台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2023	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2027	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

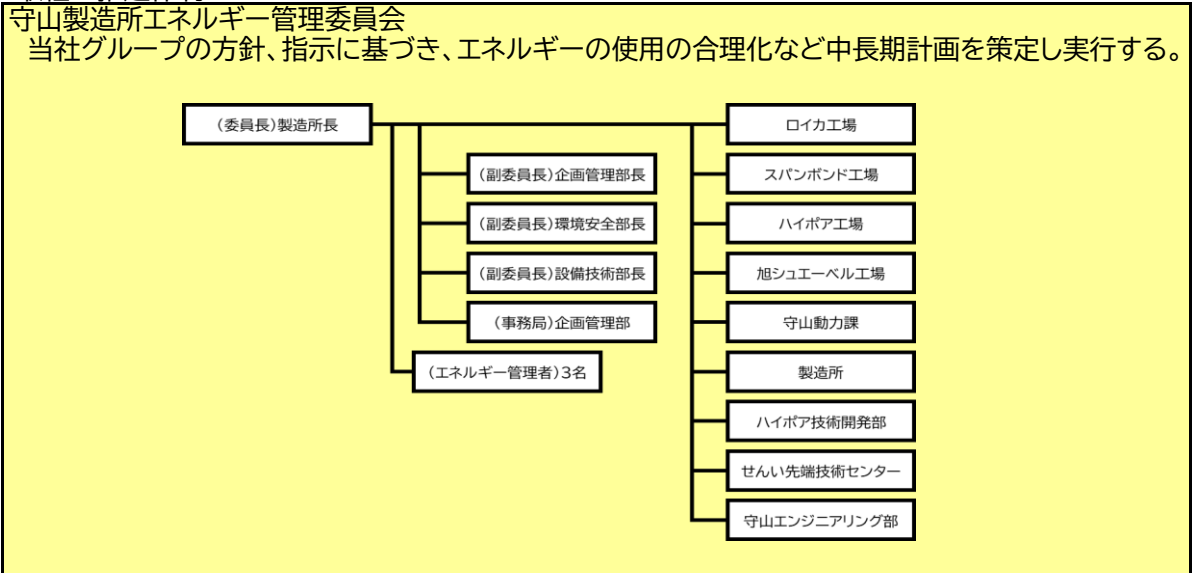
当社グループは、GHG排出量<sup>※1</sup>目標を以下のとおりとします。  
 2050年:カーボンニュートラル(実質排出ゼロ)を目指す  
 2030年:GHG排出量の30%以上の削減を目指す(2013年度対比)  
<sup>※1</sup>;cope1(自社によるGHGの直接排出)Scope2(他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出)の絶対量。

当社グループでは、地球温暖化対策には、上記の自社事業活動に伴うGHG排出量の削減に加え、多様な技術と事業をもって、社会のGHG排出量の削減に貢献することが重要と考えています。そのため、2021年4月には社長直轄のプロジェクトとして「グリーンソリューションプロジェクト」を発足させ、社会のカーボンニュートラルに向けた新たな事業創出の検討を開始しました。

当社グループは「Care for Earth」<sup>※2</sup>の視点から、  
 ①自社事業活動で排出されるGHG量の削減  
 ②事業/技術による社会のGHG量削減への貢献  
 の両面で地球温暖化問題にグループを挙げて取り組んでまいります。

<sup>※2</sup>中期経営計画“Cs+ for Tomorrow 2021”では、人と地球の持続的な発展に貢献し続けていく当社グループの姿勢を、「Care for People, Care for Earth(人と地球の未来を想う)」と表現しています。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

2022年度実績として以下を実施した。 \*原油換算kL

①電力使用量削減活動(計;73.6kL)  
 ・圧縮機効率運転  
 ・冷凍機運転時間削減  
 ・攪拌機稼働時間削減  
 ・照明LED化

②蒸気使用量削減(計;1,029kL)  
 ・吸着サイクル変更自動化  
 ・生産工程運転条件最適化

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	運転条件最適化による蒸気使用量削減	2023/4-2024/3	
2	運用改善	圧縮機効率運転、冷凍機運転時間削減による電力消費削減	2023/4-2024/3	
3	設備導入	断熱強化による電気使用量削減	2023/4-2024/3	
4	設備導入	工場内全照明LED化による電力使用量削減	2023/4-2024/3	
5	運用改善	空気圧縮機の統廃合見直しによる電気使用量削減	2025/11-2028/8	

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記(1)の取組みにより、2022年度を基準年度とし、CO <sub>2</sub> 原単位を、年0.8%(5年平均)以上改善することを目標とする。	【2023年度】
	【2024年度】
	【2025年度】
	【2026年度】
	【2027年度】

$$\text{CO}_2\text{原単位} = \frac{\text{エネルギー使用量(CO}_2\text{発生量)}}{\text{生産量(換算千m}^2\text{)}}$$

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
		(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	54,345					
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	100,154	0	0	0	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	100,154					
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>		0	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>		0	0	0	0	0
HFCs	t-CO <sub>2</sub>		0	0	0	0	0
PFCs	t-CO <sub>2</sub>		0	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>		0	0	0	0	0
エネルギー等原単位の推移		0.217					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	—	—	
2	—	—	
3	—	—	
4	—	—	
5	—	—	

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	—
2	—
3	—
4	—
5	—

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	899 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	工場建屋の屋根に太陽光発電設備を設置、2023年3月より運用を開始した。				

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	58,895					
上記のうち自家消費量	kWh	58,895					